

「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」支援事業

KAZENOWA  
3.11  
KIZUNA  
PROJECT  
in KURASHIKI



"CIRCLE WIND 2011" -絆-  
(東日本大震災3.11 慰霊モニュメント 1/4ファーストイメージモデル)  
2011. H.64×L.80×S.26cm イタリア大理石

風の環  
3.11  
絆プロジェクト

風の環 3.11 絆プロジェクト in 倉敷

～金重晃介 × 武藤順九 CHARITY EXHIBITION～

2015.12.11(FRI) - 13(SUN)

岡山県  
倉敷市

新溪園

大原美術館中庭  
旧大原邸

風の環 3.11 絆プロジェクト in 倉敷

～金重晃介 × 武藤順九 CHARITY EXHIBITION～

- 会 期 = 2015年12月11日(金)、12日(土)、13日(日)
- 開館時間 = 9:00 から 17:00 (入館は16:30まで)
- 入 場 = 無料
- 会 場 = 新溪園 (大原美術館中庭)  
住所: 倉敷市中央1丁目1-20 / 電話: 086-422-0338
- 主 催 = 風の環 3.11絆プロジェクト実行委員会
- 後 援 = 倉敷市、倉敷市教育委員会、倉敷市文化振興財団、倉敷商工会議所、  
一般社団法人 東日本大震災鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト、  
一般社団法人「風の環」
- 協 力 = 株式会社徳永こいのぼり、オリジア株式会社、すみれ花店

医療法人 和風会 中島病院 中島壮太先生のご協力により盆栽作品を展示いたします。



会期中にプロジェクトの紹介、  
プロジェクトへの支援者を募るための署名及び募金活動を行います。

- ◎ モニュメント 1/4 イメージモデルの今後の巡回先
- ・ 2016年2月19-20日: 京都マラソン2016受付会場 (みやこめっせ)
- ・ 2016年5月: 滋賀県大津市 三井寺(金堂) \* 予定

## 風の環 3.11絆プロジェクト in 倉敷 ～金重晃介×武藤順九 CHARITY EXHIBITION～

2013年3月1日、仙台市で村井宮城県知事、亀山石巻市長、ほか多くの賛同者出席のもと、官民一体のプロジェクト「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」が立ち上がりました。モニュメント制作は、「みやぎ絆大使」で世界的に活躍している画家・彫刻家の武藤順九氏が依頼を受けました。現在、国内最大の被災地である石巻市に「震災復興祈念公園」が整備されることとなり、国、宮城県、石巻市など各行政間の話し合いの中、2020年の完成を目指して計画が進行しています。2014年、モニュメント建立プロジェクトを支援し、その思いを広げるため、武藤氏の世界で展開される「風の環プロジェクト」を支援して

きた一般社団法人「風の環」は、氏の日本における芸術活動の拠点である京都で、「風の環 3.11絆プロジェクト」を立ち上げました。「京都マラソン2014」において京都市が当プロジェクトの支援を呼びかけて下さったことを皮切りに、全国に向けて署名・募金活動をおこなっています。

この度は、天領のまち倉敷市、大原美術館内「新溪園」という歴史ある景観の中で、モニュメントの1/4モデルを展示し紹介する機会をいただきました。また、武藤氏の東京芸術大学の先輩でもある、備前焼作家の金重晃介氏もプロジェクトに賛同して下さり、二人のCHARITY EXHIBITIONが実現しました。

風の環 3.11絆プロジェクト実行委員会

## CHARITY EXHIBITION

# KOSUKE KANESHIGE



花器



金重晃介

### 陶芸家

岡山県備前市香登在住。1943年生まれ。岡山県備前市伊部出身。東京芸術大学大学院彫刻科修了。1975年陶芸による作品を発表し始める。

土作り、窯焚き等は古来金重家に脈々と伝わる技法を継承しつつも、彼の手から生み出される作品には、備前土の秘めているデリケートさ、力強さ、温かさ、美しさといった土そのものの持つ特質が抽出開花されている。これ以上加えることも差し引くことも出来ない研ぎ澄まされたその造形には、豊かな感性と品格が備わる。確かな足跡は常に時代を開拓して来た賜物である。

茶陶 酒器 器 ごろん壺 聖衣 海から 浮遊  
王と王妃 万華鏡 etc.

日本陶磁協会賞 山陽新聞社賞 岡山県文化賞 等受賞  
サントリー美術館 東京国立近代美術館 岡山県立美術館  
ボストン美術館 他 収蔵

岡山県重要無形文化財保持者



花器

# JUNKYU MUTO

武藤順九



<http://www.junkyu.jp/>

### 画家・彫刻家

宮城県仙台市出身。1973年に東京芸術大学を卒業後、渡欧。イタリアと京都を拠点に、大理石彫刻、ネオフレスコ画、石彩、墨絵による作品を発表。

大理石彫刻作品「風の環(かぜのわ)」シリーズは、バチカン史上初の抽象彫刻としてローマ法王夏の離宮カステル・ガンドルフォに永久設置され、一躍世界に名を高める。その後、仏教の聖地インド・ブッダガヤ(世界遺産)、ネイティブアメリカンの聖地アメリカ・ワイオミング州デビルスタワーに「風の環」シリーズが永久設置される。2011年には、ニューヨークのジャパン・ソサエティーで「風の環」9.11慰霊平和モニュメントをプレビュー展示。作品を通じ「いのちの尊さ」を訴え続けている。

ヴェルシリア賞1997年度グランプリ受賞  
(彫刻、絵画)(イタリア)

「風の環 3.11絆プロジェクト」発起人



(絵画)

シリーズ・記憶の壁 - 朝焼けと夕焼け  
Series-Wall of Memory - Moring Glow and Evening Glow  
1997. 180x160cm



(彫刻)

「男と女」  
MALE AND FEMALE  
2011.  
H.120xL.22xS.14cm